

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフMINOKAMO		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日、綺麗な環境で子どもたちの支援ができるように、清潔保持を徹底しています。学習時には個室を提供し、集中できる環境づくりを心掛けています。	フロアに掃除機をかけた後に、必ずモップでアルコール消毒をしています(トイレの床も同様)。学習が落ち着いてできるよう個室の机と椅子を壁向きL字に配置し、2人以上で使用する時は距離をとって座れるようにしています。	個室には玩具など気の散るものを置かないよう整理整頓に努めています。また、筆記具を持参していない子どもでもすぐに学習に取り組めるように、室内の筆記具の完備も徹底していきたいです。
2	日本の小学校に通う子どもたちが安心して通所できるように、多国籍に渡るスタッフが配置されています。日本語・ポルトガル語・英語を話せるスタッフが通訳となって橋渡ししてくれています。	どのスタッフもすべての国籍の子どもの支援に関わりを持つようになっています。特にブラジルの子どもたちには短時間であっても日本人スタッフが日本語で支援に入り、学校生活と同様に日本語での対話に慣れてもらうように努めています。	スタッフ同士がコミュニケーションをしっかりとって、全員が子どもたちの状況を同じレベルで把握できるよう情報共有をしていきたいです。外国籍の子どもの中には日本語に慣れていない子ども、日本語に抵抗を感じている子どももいることを理解し、ブラジル人スタッフが安心感を与えられるようフォローに努めています。
3	学校の送迎時や保護者の送迎時などに、先生や保護者とのコミュニケーションを積極的にとるようにしています。親子参加のイベントを企画し、親子でワンライフMINOKAMOを楽しんでもらえる機会をつくっています。	来所時には保護者に自宅での様子や学校での様子を確認するようにしています。学校への送迎時には先生とコミュニケーションをとるようにし情報交換に努めています。伝達事項など学校と保護者の橋渡しをすることもあります。	今後も保護者、学校と密に連絡を取り合い、互いに協力しながら子どもたちを支援していきたいです。必要時には学校と連携し、話し合いの機会を設けてもらいながら支援の方向性を統一していくようにしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発と放デイの利用時間が同一のため課題がある。安全対策や支援の質など。	支援室のスペースに限りがあり、放デイの子どもが児発の子どもにもケガをさせないよう遊ぶ時には常に注意が必要です。	支援室の一部に仕切りをつくり、静と動の遊びを異なるスペースでできるよう改善していきたいです。気候のいい時は放デイの子どもたちが公園などの屋外で遊べるようスタッフ配置を考えていく必要があります。また、児童館の利用など新しい取り組みもしていきたいです。
2	スタッフ同士のコミュニケーションをさらに高め、同じ方向性で子どもたちの支援をする必要があります。	日本語とポルトガル語の両方を話せるスタッフが通訳となって橋渡ししてくれていますが、通訳の負担をかけてしまう申し訳なさからすべてを伝えきれていないこともあります。小・中学生への対応がスタッフ間で異なると子どもが混乱するため、コミュニケーションをしっかりとって統一していきたいです。	ブラジル人スタッフは日本語をどんどん習得してくれています。日本人スタッフも少しずつポルトガル語を習得して距離を縮めていきたいです。SNSと翻訳アプリを使用して、みんなと同じ情報を共有できるよう努めています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ワンライフ MINOKAMO
------	----------------

公表日 令和6年 11月 18日

利用児童数 13

回収数

5

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1		学習室とプレイルームが区切られており、適切な環境下で子どもたちが勉強や活動に取り組めるよう整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1		今後も、できるだけ保護者がイメージしやすくわかりやすい支援プログラム内容を公表していくようにします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1				同じプログラムが続かないよう活動プログラムの内容を工夫・発展したり、担当者をローテーションしたりしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3			2		現在は、公園へ行く機会を設けておりますが、児童館との交流も検討していきたいと考えています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			1		行事に保護者も参加してもらい、ペアレントトレーニングを実施しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	4	1				保護者と直接対話したり、SNSを使用したりして情報の共有に努め、スタッフ間でも共通理解を図っていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1				今後も送迎時の対話、イベントの親子参加を通して、子育ての悩み等を聴く機会を多く設けていきたいと考えてます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4			1		子どもや保護者の思い、考え、気持ちに寄り添える支援となるようコミュニケーションを大切にしていきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			2		今後は、子ども間だけでなく、保護者間の交流も図れるような形のイベントを考えていきたいと思えます。きょうだいにもご参加いただけるような家族支援プログラムも検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1		相談については随時面談、電話、SNSなどで受け付けていますが、そのことを再度利用者家族に周知していくよう努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1				多国籍の子どもが利用するため、その国の言語が話せるスタッフを常に配置し意思疎通・情報伝達に努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2			2		主にSNSを使用して行事予定や連絡事項の伝達をしています。支援や行事の様子も写真などで伝えるようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1		マニュアルを保護者に周知できるよう検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2		年に2回避難訓練を実施し、避難場所まで実際に子どもたちと歩いて経路を確認しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1		子どもがケガをした時、体調不良を訴えた時または体調不良と判断した時は速やかに保護者に連絡し説明をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ワンライフ MINOKAMO		令和6年 11月 18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	必要時、スペースを広く整えるようにしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3		一人一人手厚い支援を目指したい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		消毒・清掃を引き続き実施する。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		部屋の空間をどう使うのか工夫が必要なので日々検討しながら運用をしている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	4		時間にゆとりをもってPDCAサイクルが出来る様に工夫したい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		国籍関係なく把握が必要だと感じているので連携を図りたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		国籍関係なく把握が必要だと感じているのでスタッフ間の連携を図りたい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	スタッフが一人一人工夫をしながら実施している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	全員で行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	週交代で担当をかえているため、固定化はされていないと思う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼を活用。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		スタッフ間で共有をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	記録は書いている	連絡帳にて記録をとっているので引き続き行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		週によって異なります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	子どもに選択してもらうような声かけを心掛けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	可能な限りカナリヤ会議に参加している。	会議の内容をスタッフ間で共有します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		学校との連携を密に行っていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		就学前に利用していた機関とは情報共有する機会が少ないためつくっていききたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		今後、利用児と一緒にこういった場に出かけられるよう調整したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や、お迎え時に話す機会を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	今年度は2回イベントに参加していただき、悩み事を聞く機会を設けることができた。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	SNSを使い情報共有や連絡などを行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域住民を行事に招待し連携をはかりたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	研修がある。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		アレルギー、病気と薬はわかる。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		アレルギーについて周知している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			